

## 【事業実績】

### 1. 自然史系資料デジタル化のための技術レビュー及び戦略策定

#### ①技術レビュー及び戦略の明確化

今後の博物館のデジタルなネットワーク、人的なネットワークの拡充に向けて議論を深めることができた。なかでも、SPNHC/TDWG 沖縄大会に向けて順調に国際連携を深めることができた。その他手法などについても研究会などを重ねて深め、様々な媒体で共有することができたと考えている。

#### SPNHC 報告会実施 (限定公開)

蔭山麻里子・仲里猛留・佐久間大輔・Shelly James・Tiffany Adrain

・Greg Watkins-Colwel・Ely Wallis・Stanley Blum ほか出演

2023年7月14日に開催

リアルタイム参加者数36名 見逃し視聴84回

<https://youtube.com/live/D544Zo9j0y8>

TDWG (Biodiversity Information Standard) オーストラリア大会参加

タスマニア州ホバートにて2023年10月8-13日開催

2024年沖縄開催の決定に向けた議論への参加、大会運営の確認、議論動向の確認を行った。現地2名オンライン参加1名

TDWG2023 (生物多様性情報標準化委員会) 現地報告

2023年10月13日公開 YouTube 250 回視聴

[https://youtu.be/9c\\_HiGIPVSw](https://youtu.be/9c_HiGIPVSw)

報告会 SPNHC TDWG2024 に向けて ホバート大会のおさらいと沖縄大会の展望

2023年12月28日収録、1月公開 112 回視聴

<https://youtu.be/zlTUyu3t4d0>

シンポジウム「望ましい博物館ネットワークを考える」

2024年2月13日実施 大阪市立自然史博物館 登壇者 佐久間大輔・三橋弘宗・志賀健司・高田みちよ・橋本 佳延 会場での参加19名 オンライン参加25名 見逃し配信を準備中



#### ②自然史資料デジタル化プロセスと資料管理に関するワークフローの検討

スタジオの運用とよりよいネットワーク利用を検討した。特に、利用のイメージ

#### 学会などによる利用手法の見学

日本植生学会、軟体動物多様性学会、奈良女子大学、大阪府環境農林水産研究所など

11件約600名

研究会「植物標本のデジタル撮影・活用を考える」

2024年2月28日 zoomにて実施 参加者9名 データ公開

報告書公開 2年間の運用をまとめた報告書をPDF公開



### 2. 資料デジタルイメージング拠点の運用と拡充

昨年度整備した大阪の撮影装置はすでに5万点以上を撮影している。滋賀の撮影装置も稼働状態となった。

#### ①拠点の拡充と運営体制の確立

滋賀県立琵琶湖博物館のスタジオ新設と大阪市立自然史博物館での機能拡充を実施した。

#### ②ワークフローの改善・確立および・既存大規模データ公開支援



滋賀県立琵琶湖博物館

大阪市立自然史博物館

### 研究会「拠点スタジオの運営と今後の運用」

大阪市立自然史博物館にて 2024 年 2 月 1 3 日実施 参加 8 名

ダイジェストを公開予定

## 3. 自動処理及び市民参画によるデジタル自然史資料整備の加速とその活用検討

AI ラベル読み込みプログラムを完成させた。オンラインでの作業ワークフローを提案、共有することができた。

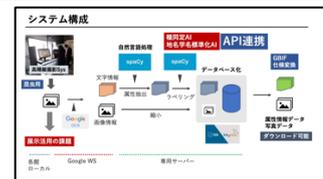
### ①WEB アプリの運用と改善、市民参加によるデータキュレーションの推進

ラベル自動読み取りアプリの開発と公開 参加館に ID 付与

シンポジウム「望ましい博物館ネットワークを考える」(再掲)

研究会「新収蔵庫棟と資料のデジタル化を通じた標本の整備と活用」

兵庫県立人と自然の博物館 参加者 4 2 名 共催：日本博物館協会



## 4. 情報共有、対応能力底上げのための研修・技術交流

### ①学芸員のための情報技術講習

#### 多様な自然史情報発信のための講座その1 文化資源スリムモデルの実際

福島幸宏さん(慶応義塾大学)・阿児雄之さん(東京国立博物館)

進行 佐久間大輔 2023 年 8 月 9 日開催 zoom 開催

リアルタイム視聴 38 名 見逃し配信視聴 201 回

#### 多様な自然史情報発信のための講座その2 JAPAN SEARCH との連携

奥村 牧人さん(国立国会図書館 電子情報部)

進行 佐久間大輔 2023 年 12 月 7 日開催 zoom 開催

リアルタイム視聴 10 人 見逃し配信視聴 170 回

巡回展研究会 2023 年 10 月 4 日 市立伊丹ミュージアム

現地25名、見逃し171名 <https://youtu.be/kBjA4juLZMo>

#### 自然史博物館×美術館の連携と STEAM 教育研究会 2023/12/14

会場26名 オンライン 24 名 見逃し配信視聴361

<https://www.youtube.com/watch?v=fEDRjww8ZTI>

STEAM 教育研究会オンラインディスカッション 参加者 26 人



### ②高度なデジタル自然史資料公開のための実習

#### 研究会「新収蔵庫棟と資料のデジタル化を通じた標本の整備と活用」(再掲)

AI によるラベル自動読み取りなどの実習を実施。

自然史系博物館に限らない、幅広のネットワーク促進、博物館の技術革新を議論することができた。

兵庫県立人と自然の博物館 参加者 4 2 名 共催：日本博物館協会

